

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

浴槽用浮き輪による溺水 (No.4 浴槽用浮き輪による溺水、No.18 解決したはずの浴槽用浮き輪による溺水 (2009年3月, 10月の2例) の類似事例2)

事例	年齢：9か月 性別：女 体重：8.5kg 身長：70cm	
傷害の種類	溺水	
原因対象物	パンツ型の浮き輪 (浴槽用浮き輪)	
臨床診断名	溺水	
発生状況	発生場所	自宅の浴室
	周囲の人・状況	児の発達段階はハイハイができる状態であった。自宅の浴室にて、母と児が入浴していた。
	発生年月日・時刻	2014年12月11日 午後6時30分頃
	発生時の詳しい様子と経緯	児は浴槽の中でパンツ型の浮き輪に座っていた。母は洗い場で髪を洗っていた。お湯の中で、児は足で浴槽の床を蹴って前かがみとなり、バランスを崩してくるりとひっくり返ってしまった。母は目撃していた。お湯の深さは、児が浮き輪に座った状態で、足が底に着くか着かないくらいの深さであった。5秒以内に児を抱き上げた。すぐに泣き、咳き込みやむせるような感じは無かったが、当院の救急センターを受診した。
治療経過と予後	来院時、バイタルサインに異常は見られず、肺野の聴診上も問題はなかった。救急外来の診療のみで帰宅した。 このパンツ型の浮き輪 (傷害速報 No.4 と同じ製品であることを写真で確認) は友人から借りていたものであった。友人から便利だとのことで借りていた。児が7か月のときから2か月間使用した。母の話によると、児の足が浴槽の底に着かないときは安全であったとのこと。浮き輪にも「足が着くところでは使用しないこと」と注意書きがあった。	